

令和4年度

さかいで131おとめ隊

活動報告書

2023年3月22日

# 目次

<b>1. 今年度の目標</b>	.....	<b>3</b>
<b>2. 活動体制</b>	.....	<b>3</b>
<b>3. 活動内容</b>	.....	<b>4</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和4年度活動一覧</li><li>・ 新規採用職員研修</li><li>・ 避難所担当職員研修</li><li>・ 令和4年度防災フェスタ「おとめ隊からの挑戦状！」</li><li>・ 職場の備え選手権</li><li>・ 防災アクト（おうちで防災訓練）</li><li>・ 広報活動</li><li>・ 各種団体における講演・取材</li></ul>		
<b>4. 成果・課題等</b>	.....	<b>13</b>
<b>5. 来年度の目標</b>	.....	<b>14</b>

# 1. 今年度の目標

- ・全職員が主体的に防災活動に取り組めるよう、おとめ隊メンバーも学びを深めながら普及・啓発に努める。
- ・昨年度に引き続き、子どもから大人まで楽しく学べるよう、効果的な啓発ができるよう工夫する。

# 2. 活動体制

第9期生 メンバー構成 ⇒ 3人交代

No.	担当	所属	氏名	備考
1	リーダー	監査委員事務局	宮本 晶子	
2	サブリーダー	健康福祉部かいご課	古川 美樹	
3	〃	建設経済部建設課	長野 麻衣	
4	メンバー	健康福祉部ふくし課	田中 美統子	
5	〃	健康福祉部ふくし課	末澤 奈菜子	
6	〃	健康福祉部こども課	山崎 華	新規
7	〃	健康福祉部かいご課	永井 千晶	
8	〃	政策部秘書広報課	山田 愛莉	
9	〃	健康福祉部かいご課	小島 真衣	
10	〃	市立病院庶務課	三枝 梨奈	新規
11	〃	総務部危機管理課	松岡 未祥	新規・事務局

### 3. 活動内容

#### 令和4年度活動一覧

活動	日程	主な内容	備考
任命式 第1回会議	R4.5.11	・リーダー、サブリーダーの選出 ・活動方針や年次計画の決定	
新規メンバー研修	R4.5.24	・おとめ隊の活動について	リーダー・サブリーダー・新規メンバー
第2回会議	R4.5.31	・年度目標の決定 ・今年度の活動内容について ・新規採用職員研修について	
新規メンバー研修	R4.6.23	・香川県防災センター体験	
第3回会議	R4.6.22	・新規採用職員研修について	
第4回会議	R4.7.22	・新規採用職員研修について	
職員防災研修 (新規採用職員)	R4.7.27	・新規採用職員研修 市役所職員の備え	参加者：11名
第5回会議	R4.8.31	・新規採用職員研修について（反省） ・避難所担当職員研修について	
第6回会議	R4.9.12	・避難所担当職員研修について ・避難所運営ゲーム HUG	
第7回会議	R4.10.13	・避難所担当職員研修について	
職員防災研修 (避難所担当職員)	R4.10.20	・避難所担当職員研修 坂出市避難所運営マニュアルについて 避難所運営ゲーム HUG	参加者：20名
防災講演 (内閣府男女共同参画局主催)	R4.10.22	・ぼうさいこくたい 2022 「集まれ！防災女性職員とその応援団 第2弾」 おとめ隊の取り組みについて	担当：松岡
第8回会議	R4.11.28	・避難所担当職員研修について（反省） ・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
第9回会議	R4.12.23	・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
第10回会議	R5.1.18	・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	

防災講演 (全日本建設技術協会四国地区 連合会主催)	R5.1.19	・第44回建築技術に関する講演会 「香川における防災対策について」 おとめ隊の取り組みについて	担当：松岡
第11回会議	R5.1.26	・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
防災フェスタ	R5.1.29	・体験型131(ぼうさい)ゲーム 「おとめ隊からの挑戦状！」	参加者：10名
おとめ隊の日	R5.1.31	・職場の備え選手権 結果発表	
防災講演 (内閣府男女共同参画局主催)	R5.2.2	・防災分野における女性の参画促進に 関する地方公共団体職員向け研修 おとめ隊の取り組みについて	担当：松岡
第12回会議	R5.2.14	・防災フェスタについて(反省) ・職場の備え選手権について(反省) ・防災アクトについて	
防災講演 (社会福祉協議会主催)	R5.2.22	・ボランティア講習会 「災害に備えて -地域のみんなで考える自分のまちの防災-」	担当：宮本・古川・松岡 参加者：20名
防災アクト	R5.3	・おうちで防災キャンプ	
第13回会議	R5.3.9	・防災アクトについて(反省) ・令和4年度活動反省 ・次年度の課題検討	
市長報告	R5.3.22	・令和4年度活動報告	

## 新規採用職員研修（R4.7.27）

平成 28 年度から継続し、新規採用職員を対象に職員としての災害時における対応や職場における備えについて伝えることで、災害時の対応力の底上げを図ることを目的とし、研修を実施しました。令和 2 年度から取り入れたグループワークにおいては、活発な意見交換があり、自分に必要なものを考え、実際に備えることまでつなげることができました。

### ○対象

令和 4 年度新規採用職員（市立病院（庶務・医事課除く）・消防除く）

### ○内容

- ・南海トラフ地震について（坂出市の被害想定）
- ・坂出市における過去の台風および集中豪雨の対応
- ・実際の備えの紹介
- ・職員用 1 3 1（ぼうさい）カード（参集基準の確認）
- ・グループワーク（自分に必要な備えについて）



### 研修後のアンケートの一例

- ・研修を受講したことで自分がなにも対策できていないことに気付いた。
- ・市の職員として災害に対する意識が深まった。

## 避難所担当職員研修（R4.10.20）

避難所運営マニュアルに基づき、大規模災害時の避難所について、避難所担当職員に周知することを目的として実施しました。今年度も昨年度同様、避難所運営ゲーム HUG の実践と組み合わせることで、より状況を想像しやすく、理解を深められました。また、感染症対策の事例や説明も引き続き行いました。

### ○対象

避難所担当課職員

### ○内容

- ・避難所運営における初動対応等の例
- ・避難所運営ゲーム HUG
- ・活動班ごとの説明
- ・振り返り（HUG の反省）



### 研修後のアンケートの一例

- ・予想できないことが次々と起こることが実感できた。
- ・自分には何ができると考えるきっかけとなった。

# 令和4年度 SAKAIDE 防災フェスタ

## 体験型131（ぼうさい）ゲーム「おとめ隊からの挑戦状！」

9回目となる防災フェスタを今年度は1月31日「おとめ隊の日」の直近の日曜日である29日に勤労福祉センターで開催しました。今年度は応募要項に年齢制限を設けず、こどもから大人まで、幅広い世代の市民のかたにご参加いただきました。令和2年度に実施した「おとめ隊からの挑戦状」の内容をブラッシュアップし、楽しみながら防災について学んでいただけるイベントとなりました。今後も継続して開催したいと考えております。

- ・日時：令和5年1月29日（日）10：00から12：00
- ・場所：勤労福祉センター
- ・内容：防災のお話

### ゲーム

- シーン1：正しい避難行動クイズ
- シーン2：津波発生時の避難場所クイズ
- シーン3：新聞紙スリッパの作成&使用
- シーン4：災害用伝言ダイヤル
- シーン5：簡易トイレ
- シーン6：手洗いチェッカー

### ゲーム解説



ぼうさい  
体験型131ゲーム  
おとめ隊からの  
挑戦状!  
ちやうせんじやう  
災害時に正しい行動がとれるかを試す  
体験型のゲームをクリアして  
さかいで131マスターを目指しましょう!  
令和5年1月29日(日)  
時間 10:00-12:00 (9:30より受付開始)

SAKAIDE防災フェスタ  
体験型防災ゲーム おとめ隊からの挑戦状!

「おとめ隊からの挑戦状」は、災害にあったときに正しい行動がとれるかを試す体験型の防災ゲームです。  
時間内にすべての挑戦をクリアした人には「さかいで131（ぼうさい）マスター」のバッジをプレゼント!

ゲームチーム（7歳以下は保護者同伴）  
おとめ隊と  
協力しながら  
楽しみながら  
防災について  
学んでいただく  
イベントです。  
おとめ隊の  
メンバーが  
ご参加いただき  
ます。

TEL 44-9023  
お問い合わせは  
こちらです。



# 職場の備え選手権

おとめ隊では、市職員は業務中に被災するとそのまま災害対応にあたらなければならないといけな  
いため、職場の備えが必要であることをこれまで繰り返し啓発してきました。そこで、皆さんがど  
のような備えをしているのか見せていただき、今後よりいっそうの啓発に繋げていきたいと考え、「職場  
の備え選手権」を開催しています。2回目となる今回は8名からの応募があり、どれも個性あふれる備  
えがなされていました。その中から、おとめ隊が独断と偏見により大賞（備えマスターに任命）、  
新人賞、百均でスマートで賞、収納上手で賞、意識高い課で賞を選出し、発表と啓発を兼ねてインフォ  
メーションに掲載しました。

この選手権は啓発や年に1回の備えの実施や見直しの機会になると思うので、内容や応募方法を検  
討しながら今後も継続していきたいと考えております。

## 結果発表資料

さかいて131おとめ隊  
1月31日  
おとめ隊の日

### 職場の備え選手権！

**大賞者並びに各部門ごとの  
受賞者発表**

みなさん、数々のご応募ありがとうございました！  
前回の選手権と同様に、想像していた以上に個性があり、やはり  
それぞれ必要なもの、大事なものは違うのだと実感しました。  
今回ご応募されなかった方も、今後も継続して開催する予定で  
しますので、是非ご参加ください！

それでは、次のページから  
各賞の備えを紹介していきます！  
ぜひ備えの参考にしてください！



**大賞**  
(備えマスター)



**備えの内容**

- ・お茶
- ・水
- ・割りばし
- ・紙コップ
- ・スプーン
- ・紙皿
- ・シャampoo
- ・虫よけ
- ・サランラップ
- ・食料
- ・メガネケース
- ・手袋
- ・作業服
- ・カイロ
- ・携帯トイレ
- ・圧縮タオル
- ・拭きシート
- ・湿布




**備えのこだわりポイント**

引き出しのお茶は賞味期限がバラバラで管理しにくかった  
ので、キャップに赤ペンで賞味期限を書いてすぐに確認で  
きるようにしています。

**おとめ隊からのコメント**

前回の職場の備え選手権にご応募いただいた備えから  
さらにレベルアップ！備えるだけでなく、消費期限等  
の管理までできているところが素晴らしいと思いま  
した。



**新人賞**



**備えの内容**

- ・ランタン
- ・お菓子
- ・懐中電灯
- ・頭痛薬
- ・軍手
- ・割り棒 など

**備えのこだわりポイント**

停電に備えられるようにしました。  
エネルギー補給はばっちりです！

**おとめ隊からのコメント**

必要なものプラス自分の好きなお菓子を備えられています。  
賞味期限に気をつけてローリングストックしてください！



**百均でスマートで賞**



**備えの内容**

- ・目
- ・水
- ・電池
- ・携帯トイレ
- ・薬袋
- ・コップ
- ・食品
- ・モバイルバッテリー
- ・マスク
- ・からだ巻き
- ・お箸
- ・カイロ
- ・ランタン
- ・ワエットティッシュ
- ・ティッシュ
- ・ゴミ袋
- ・肉類ポリ袋
- ・絆創膏
- など

**備えのこだわりポイント**

災害が起きて、庁舎が壊れても生活できるように考えまし  
た。面倒くさがりな性格なのでほとんど百均で揃えました。

**おとめ隊からのコメント**

身近なものでしっかり備えられているところがすごいと思  
いました。おとめ隊も見習います！



**収納上手で賞**

スペースを有効活用して  
収納されていますね！

**ロッカー部分**



**備えの内容**

- ・水
- ・保温ブランケット
- ・マスク
- ・モバイルバッテリー
- ・ティッシュ
- ・携帯トイレ
- ・レインコート
- ・紙コップ
- ・殺菌アルコール
- ・かさ
- など

**引き出し部分**



**備えの内容**

- ・災害用携帯トイレ
- ・レインコート
- ・食料
- ・水
- ・ジャーグ下
- ・折りたたみ傘
- ・ワエットティッシュ
- ・生活用品
- ・お菓子
- など



## 防災アクト（おうちで防災キャンプ）

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で集まって活動することが難しかったため、それぞれが家でキャンプを行いました。夜に地震が起こり、電気や水道、ガスなどのライフラインが使えないという想定で、それぞれが準備した防災グッズなどを利用して一晩を過ごしました。実際に使ってみることで、様々な発見がありましたので、ご紹介します。

前回はランタンなど事前準備をして行いましたが、今回は夜間に発災し、停電・断水が起きたという設定で行いました。ランタンや簡易トイレなど必要なものを暗い中で探し出すのが大変で、どの時間に災害が起きても対応できるよう、普段から整理しておく必要があると感じました。また、ドライシャンプーや洗口液を使用し、水の使用が制限される中で、身体や口腔などの衛生面を保つ難しさも実感しました。



停電を想定して、石油ストーブでお湯を沸かし、防災食を実食しました。石油ストーブの明かりだけでは手元が見えづらく、ランタン型のライトを使用しましたが、それでも暗く、お湯を注ぐのに苦戦しました。また、簡易トイレを使用したところ、トイレを使用した後の手洗いについてなにも備えができていないことに気が付きました。実際に使用することで不足しているものに気付いたので、備えを見直したいと思います。



子どもと一緒に石油ストーブでカレーを作りました。夜間の地震を想定し、夜9時に家族で避難場所まで歩いてみました。地震がきたら多度津中学校へ、津波のおそれがあるときは少林寺総本山へ避難することを伝えました。津波到達まで少し時間があること、ヘッドライトをつけて両手に何も持たない方が安全であること、車に乗らず避難することを確認しました。



去年は、カセットコンロを使い、お湯を沸かして夕食作りを行いました。火を使わない食事をしました。夜間にお湯を沸かすのは、暗い中大変だったので、火を使わずに作れる物を探していました。千切り大根・シーチキン缶・マヨネーズ・めんつゆを使って、サラダと味付け千切りが作れます。とても簡単なので、明るい昼間に付け込んで、夜に食べることができます。覚えておきたいです。



日頃から備えている蓄電池のおかげでスマホの充電や明るさの確保には問題なく、夜も快適に過ごすことができました。一緒に実施した家族も簡易トイレやガスコンロ調理、洗い物を減らすための取り組みを実際に体験することで自信がついたようですが、今回は気候が良かったため夏の暑さ対策に不安が残りました。様々な状況下で経験を重ねることが大切だと感じました。



去年、足りていないと感じたので、ヘッドライトとウォータージャグを用意しました。暗い中で手を洗い、水を使って防災食の準備をして食べてみました。ヘッドライトは両手があくので作業がしやすくなりました。ウォータージャグがあると水道にかなり近い感覚で水が使える、とても便利でした。また、簡易トイレはペットシートでも差し支えないとわかりました。



今年は段ボールの簡易トイレではなく、トイレに備え付けて使用してみました。明かりが乏しい中で準備するのは難しく、普段からトイレの棚に置く等、すぐに取り出せるようにしておいたほうが良いと思いました。ご飯はコンロでお湯を沸かして防災食のうどんを食べました。味も食感も普段食べているものと相違なく、美味しかったです。災害時でも、平時と変わらない食事ができるかと精神的に和らぐと思いました。



災害に伴い電気やガスが使えなくなったとき、冬の寒さを耐えることが普段以上に辛くなり、体力の消耗にもつながってしまいます。家や避難所には毛布やタオルケット等があると思いますので、それらをガウンのように羽織ることで動きやすく温まることができます。温かい状態で作業ができることで少しでも心身への負担を減らすことができると感じました。



今年度はあえて準備をせずに、家にあるもので一晩過ごしました。昨年準備したカセットコンロ、耐熱性のポリ袋と、お米、水、賞味期限が近づいていた保存缶で夕食作りをしました。保存缶の牛丼は、缶の中に具と麦ごはんが一緒になっているのを知らずにお米をポリ袋で炊いてしまいました。非常時に貴重な食料を無駄にしないためにも備蓄食料を調理したり試食したりしておくことは大切だと感じました。



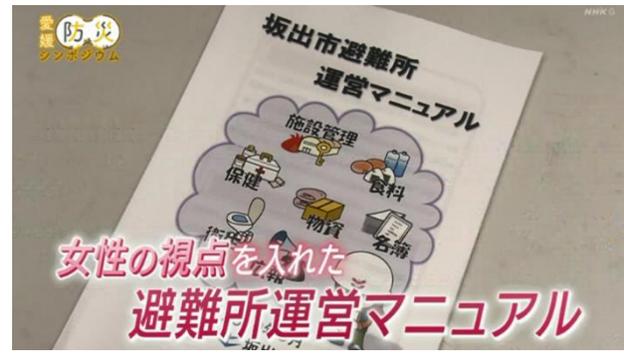
以前から備えていた防災食（おかゆ）を美味しく食べましたが、好みの味ではなかったため、いろいろ食べ比べをしてみようと思いました。また、家の中では懐中電灯1本のみで過ごしましたが、手元がふさがり簡易トイレの説明も読みづらかったです。今の自分の備えではまだまだ不十分に感じたので、必要なものを揃えていきたいです。





# 各種団体における講演・取材

## NHK 松山放送局「愛媛防災シンポジウム」(R4.6.12 放送)



## 日本経済新聞 (R4.9.5)

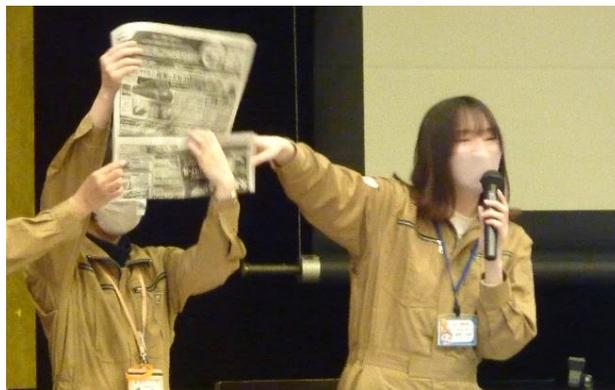


## 読売新聞 (R5.3.11)



## ボランティア講習会（R5.2.22）

坂出市社会福祉協議会主催のボランティア講習会にて、「災害に備えて－地域みんなで考える自分のまちの防災－」というテーマで講演を行いました。さかいで131（ぼうさい）カードを利用した坂出市の被害想定や身近な備えの説明に加え、避難所での要配慮者への配慮について説明し、新聞紙スリッパ体験のワークショップを行いました。



## その他

- ・ぼうさいこくたい 2022「集まれ！防災女性職員とその応援団 第2弾」（R4.10.22）
- ・第44回建築技術に関する講演会「香川における防災対策について」（R5.1.19）
- ・防災分野における女性の参画促進に関する地方公共団体職員向け研修（R5.2.2）



## 4. 成果・課題等

今年度の大きな成果としては、防災フェスタにおいて体験型の防災ゲームを実施したことでした。昨年度の防災フェスタが新型コロナウイルスの影響で中止となったため、未経験のメンバーも多く大変でしたが、メンバーで意見を出し合いながらひとつのものを作り上げることは貴重な経験となり、大きな達成感を味わうことができました。内容も大変充実したものとなっており、より多くの人に体験してもらうため、改善をしながら今後も継続して実施していきたいと考えています。

また、これまでに引き続き、職員研修に重点を置き取り組み、新規採用職員研修や避難所担当職員研修を実施し、研修後のアンケートでも多くの学びがあったと好評を得ています。

さらに、今年度は外部団体からの講演依頼、テレビや新聞等の取材依頼が多く、おとめ隊の活動が広く認知されてきたことを実感しています。

課題としては、防災フェスタや職場の備え選手権など、内容はよいものができる自信はあるのですが、想定するほど参加者が集まらないので、今後、試行錯誤していきたいと思えます。

## 5. 来年度の目標

---

今後も「日常生活に防災を取り入れる」ことを念頭に、職員や市民に対して啓発活動を継続して行っていきます。また、継続して実施していることに加え、自分たちで必要なこと、やりたいことを考え、実施まで行うことにより、より充実した活動にしていきたいと思えます。

- ・避難所運営マニュアルの普及啓発
- ・職員、市民への啓発活動（さかいで131カード、131 CHECK LIST の普及）
- ・防災フェスタ「おとめ隊からの挑戦状！」の実施